

2020 年度  
神戸大学国際人間科学部発達コミュニティ学科  
アドミッション・オフィス入学試験  
スポーツ科学受験 第1次選抜  
2019年10月19日(土)実施

【筆記試験】(150点)

スポーツ科学に関する筆記試験

試験時間：150分

(注意)

- ① 問題は3問(問題冊子は表紙と下書き用紙を含めて11枚)あります。
- ② 解答用紙は4枚あります。
- ③ 解答はすべて解答用紙の指定の欄に記入してください。
- ④ 解答は、解答用紙に横書きで記入してください。
- ⑤ 配付した問題冊子及び解答用紙等はすべて持ち帰ってはいけません。

## 問題 I

次の文章を読んで設問に答えなさい。(配点 75 点)

※ 問題資料は非公開

出典：武 茂樹（2003）用具性能向上と競技規則の調和，日本機械学会誌，Vol.106，  
No.1010，pp.41-42. 一部加筆・改変.

(注1)：多くの大会（トーナメント）を一つにまとめてツアーというが，ここではアメリカの男子プロゴルフツアーを運営する団体が運営するトーナメントの意。

(注2)：「マスターズ・トーナメント」のことで，アメリカ・ジョージア州のゴルフクラブを会場に開かれるゴルフの世界4大トーナメントのうちのひとつ。

---

設問 1 :

文章中の①, ②, ③及び④に相当する語句を答えなさい。また, ②, ③, ④のうち, ①に最も大きく影響する変数(語句)を解答用紙の⑤に答えなさい。

設問 2 :

文章中の下線(あ)「ゴルファーたちは \_\_\_\_\_ てきた」の空白部分に相当する文言を入れて 40 文字以上 70 文字以内の文を完成させなさい。ただし, 文字数には「ゴルファーたちは」(8 文字) および「てきた」(3 文字) を含めること。

設問 3 :

文章では, 打ち出したボールのより大きな飛距離を得るためには, 打ち出すボールの初速度を高めることが選手にとって重要な課題の一つであることが述べられていますが, 打ち出すボールの初速度を向上させるにはどのような方法が考えられますか。具体的に説明しなさい。

設問 4 :

文章中の下線(い)のように, ゴルフクラブの反発係数が規制された以降も飛距離が伸びつづけた原因として, どのようなことが考えられますか。説明しなさい。

設問 5 :

文章中の下線(う)や図 5 のように, より大きな飛距離を獲得できた選手が, 必ずしも競技成績が高いとは限らないようです。ゴルフクラブの反発係数が規制されている中で, 競技成績をより高めるには, 選手はどのようなことを向上させ, ゴルフクラブの製作者はゴルフクラブのどのようなことについて改善・改良する必要があるでしょうか。両者に共通する課題を挙げそれについてそれぞれの立場から説明しなさい。

## 問題Ⅱ

図1と図2は、2018年と2009年のわが国における成人人口を対象としたスポーツ実施率の調査により、定期的実施層（週1回以上）、非定期的実施層（週1回～月3回）、非実施層（月3回未満）の三つに分け、それぞれの割合を年代別に示したものである。これらの図をもとに以下の設問に答えなさい。（配点45点）

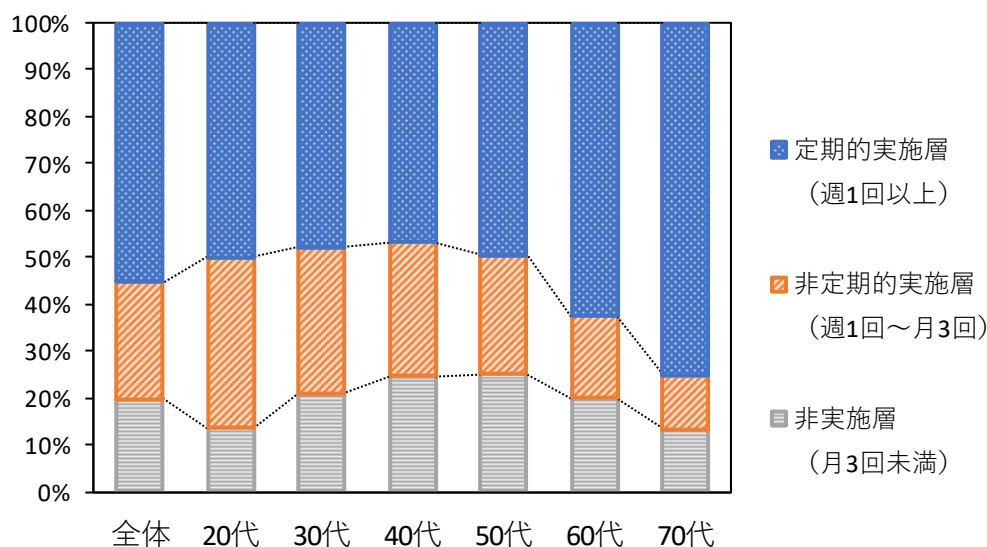


図1 運動・スポーツ実施頻度の年代別割合（2018年）

（平成30年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」結果（スポーツ庁）より作成）

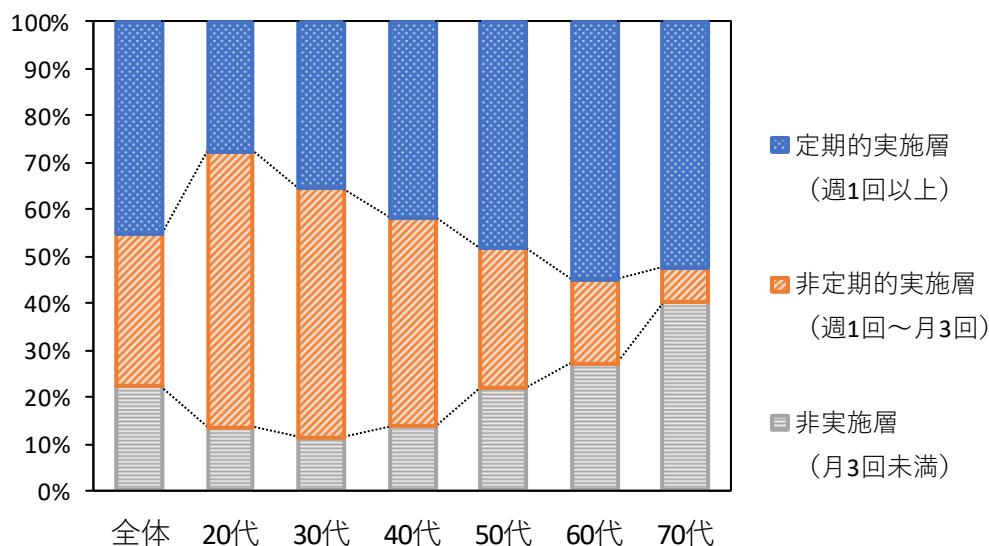


図2 運動・スポーツ実施頻度の年代別割合（2009年）

（平成21年度「体力・スポーツに関する世論調査」結果（内閣府）より作成）

設問 1 :

2018 年 (図 1) で示されている定期的実施層 (週 1 回以上) について, その年代別傾向を記述しなさい。また, そのような傾向となっている理由や背景について自分の意見を述べなさい。

設問 2 :

2018 年 (図 1) と 2009 年 (図 2) を比較し, 異なる点を一つ挙げて記述しなさい。また, その変化についての理由や背景について自分の意見を述べなさい。

設問 3 :

2018 年 (図 1) の 20 代, 30 代の定期的実施層 (週 1 回以上) を今後増加させていくためにどのような方策が効果的か, そのアイデアについて述べなさい。

### 問題Ⅲ

次の文章の（ ）に当てはまる適切な語句を下の語群より選び、解答用紙に記入しなさい。(配点 30 点)

1. 心身ともに自立した活動的な状態で生存できる生活期間のことを（ ① ）という。高齢化が深刻化する我が国では（ ① ）をいかに伸ばすかが大きな課題となる。
2. ヘルスプロモーションは 1986 年に世界保健機関によって提唱された、人々の健康の維持・増進のための活動・戦略である。世界保健機関は、「健康とは身体的、精神的、そして（ ② ）に完全に良好な状態であって、単に病弱でないということだけではない」と定義している。この定義は、現今の幅広い分野における健康概念の基盤となっている。
3. 生涯にわたるスポーツライフをおくるうえで、「スポーツ・（ ③ ）」を養うことが必要である。「スポーツ・（ ③ ）」とは、運動の仕方や技術、スポーツに対する価値や態度、スポーツの集団を組織する能力などを指す。
4. 単にモノのデザインのことをいうのではなく、より多くの人々が気持ちよく使えるように計画し、配慮しておこうとする考え方を「（ ④ ）・デザイン」という。運動・スポーツの分野では、性別、年齢、身体的な特徴やその能力、運動レベルなどに関わりなく、すべての人に開かれたスポーツを「（ ④ ）・スポーツ」という。
5. 知的発達障害のある人たちに、さまざまなスポーツトレーニングや競技会を、年間通じて提供している国際的な組織活動のことを（ ⑤ ）という。
6. スポーツ振興に関わる非営利活動団体を総称して「スポーツ（ ⑥ ）」という。具体的には、スポーツを柱として子どもの健全育成から高齢者福祉などの地域活動を担うものや、学校部活動で扱われにくい特定の競技種目の地域振興や選手育成を担うものなどがある。
7. （ ⑦ ）とは、肉体を使うスポーツおよびモータースポーツの競技で成績を良くするため、運動能力・筋力の向上や神経の興奮などを目的とした不正行為、及びそれらを隠蔽する行為を指し、スポーツの倫理的・医学的観点からも問題視され、スポーツ競技大会や各国のスポーツ振興に関する法制の一つの潮流となっている。

8. ( ⑧ )とは、オリンピック・パラリンピックにおける開催都市（ホストシティ）とは異なり、競技大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る全国各地の地方公共団体を指す。
9. オリンピックをはじめとするメガ・スポーツイベントの開催によってもたらされる有形無形の正負の遺産のことを「スポーツイベントの ( ⑨ )」と呼び、近年では招致の段階から、開催後にどのような ( ⑨ )を残すのかが焦点の一つになっている。
10. 「スポーツ ( ⑩ )」とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標である ( ⑩ )の達成に、スポーツにより貢献する取り組みである。

〔語群〕

キャリア	コミュニケーション	NGO
スペシャルオリンピックス	政令都市	エコシステム
SDGs	指導者	パラリンピック
ホストタウン	ユニバーサル	レガシー
社会的	SNS	リテラシー
バーンアウト	平均寿命	ドーピング
経済的	NPO	ピーキング
メディア	スポンサーシップ	健康寿命